

# 令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	平野区
学 校 名	川辺小学校
学校長名	兵庫 唯史

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

## 1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

## 2 調査内容

### (1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

### (2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

## 3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・川辺小学校では、第6学年 43名

## 令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

調査結果から、国語科の平均正答率は、62%で全国平均正答率と比べて5.7%、大阪市の平均正答率より4ポイント下回る結果となった。算数科の平均正答率が57%で全国平均正答率と比べて6.4ポイント、大阪市の平均正答率より5ポイント下回る結果となった。

また平均無回答率については、国語科は、1.6%で、全国の平均無回答率より2.6ポイント、大阪市の平均無回答率より1.7ポイント低い結果になった。算数科でも、2.1%で全国平均無回答率より1.3ポイント、大阪市平均無回答率より1.1ポイント低い結果となり、問題に対して最後まであきらめずに取り組もうとする態度が児童が育成されている結果となった。

## 分析から見てきた成果・課題

### 教科に関する調査より

〔国語〕「我が国の言語文化に関する事項」と「読むこと」の2つの領域において、全国平均正答率を上回っている。日常的に読書に親しみ読書が自分の考えを広げることに役立つことが理解できている。一方、「情報の扱い方に関する事項」と「話すこと・聞くこと」「書くこと」に関しては、全国平均正答率を下回っており、特に「書くこと」においては目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫したり、伝えたいこと明確にすることに課題がある。

〔算数〕「図形」の領域においては大阪市平均正答率を上回っている。特に直方体の見取り図については確実に理解し書くことができている。一方「変化と関係」に関しては、2つの数量の関係に着目し、それらの関係を用いたり、単位量当たりの大きさの意味や表し方について十分理解できていない。「データの活用」に関しては、データを根拠として自分の考えをもつことに関して課題が見られる。

### 質問調査より

「自分には、よいところがあると思う」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」「人が困っているときは、進んで助けている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」の質問項目で、「当てはまる」とする肯定的な回答率が全国平均を上回っている。多くの児童が自分や友達の良さを認め、互いに支え合いながら学校生活を送っているといえる。また、教職員が児童理解を共有し、安心して過ごせる学校づくりに努めている成果が出ていると言える。さらに、「将来の夢や目標を持っている」「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」や「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか」の質問項目においても肯定的な回答率が全国平均を上回っており、児童が学習に対して主体的に取り組んでいることがわかる。一方、「学校へ行くのは楽しいと思う」の問いに対して「当てはまる」と回答した児童は36.6%と大阪市や全国と比べると、低くなっている。児童が「自分が好き」「友だちが好き」「学校がすき」と言えるような学校づくりに取り組むことが重要である。

## 今後の取組(アクションプラン)

本校では、算数科を研究教科として授業改善に向けた指導助言や校内研修等の支援などスクールアドバイザーの先生を招致し行っている。授業研究やメンター研修会等の教員研修を計画的に実践することを通して、授業を中心とし、様々な教育活動の中で児童一人一人が自分の考えをもち、互いに交流する場を多く取り入れ、主体的・対話的で深い学びを進め授業力向上に努めている。学力向上に向けた研修を重ねることで、さらに教員の指導力を磨き、根拠や理由を表現できる児童の育成を図り、学力向上に努めていく。

反復学習（計算・漢字・理科）を充実させるために、ICT機器を有効に活用し、「デジタルドリル」などの教材で漢字や計算等の基礎・基本の内容の定着や既習内容の復習等に取り組む。校内の掲示物を創意工夫し、社会情勢について知見を増やしたり、考えられる機会を増やすなど工夫し、学力の向上に努めていく。家庭には、今回の児童質問紙からうかがえる実態を機会あるごとに伝え、児童の健やかな心身の成長のために引き続き、家庭・学校・地域の連携を推進する。その課題解決のための協力を仰ぐようにする。

## 【 全体の概要 】

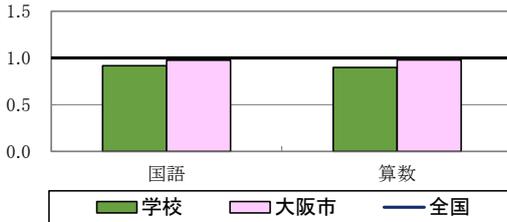
### 平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	62	57
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

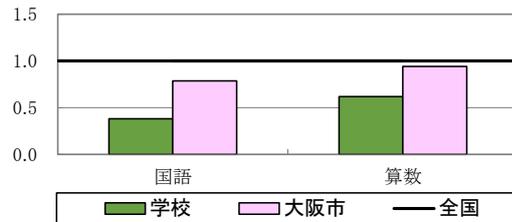
### 平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	1.6	2.1
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



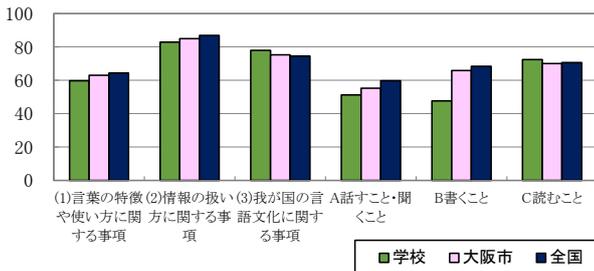
## 【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	59.8	63.1	64.4
(2)情報の扱い方にに関する事項	1	82.9	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	78.0	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	51.2	55.3	59.8
B 書くこと	2	47.6	65.9	68.4
C 読むこと	3	72.4	70.1	70.7

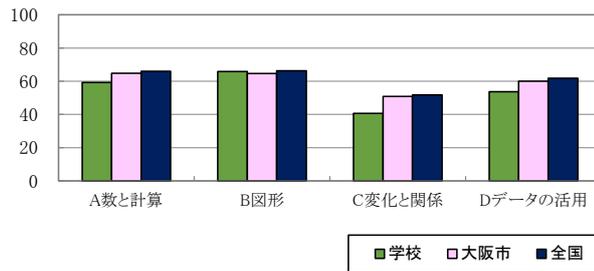
## 【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	59.3	64.8	66.0
B 図形	4	65.9	64.6	66.3
C 測定	0			
C 変化と関係	3	40.7	50.8	51.7
D データの活用	4	53.7	60.0	61.8

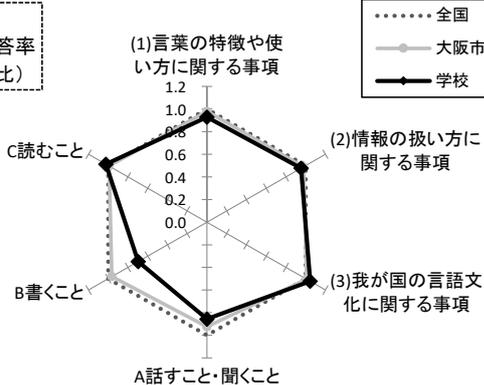
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



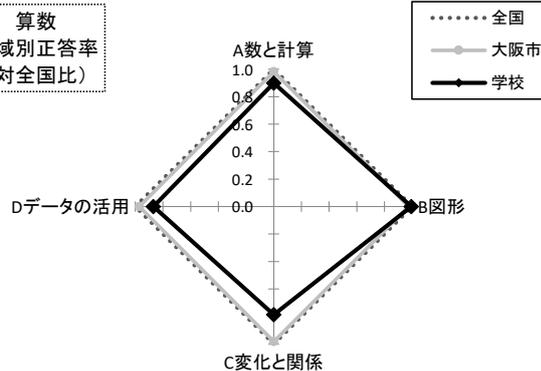
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語 内容別正答率(対全国比)



算数 領域別正答率(対全国比)

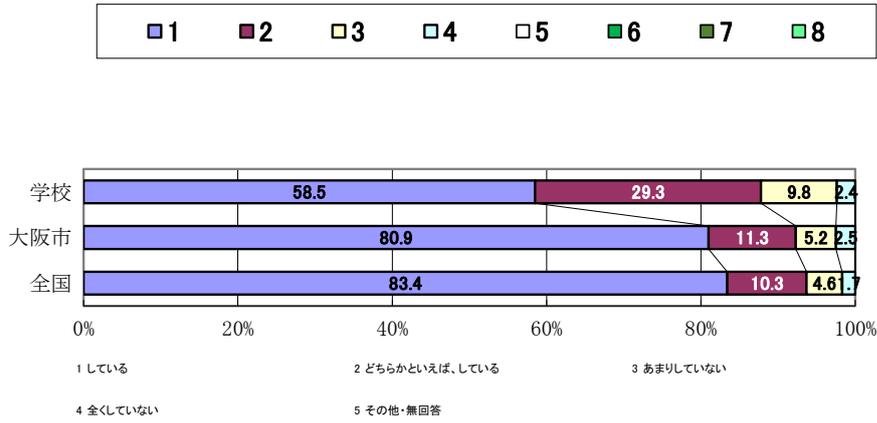


# 児童質問より

質問番号  
質問事項

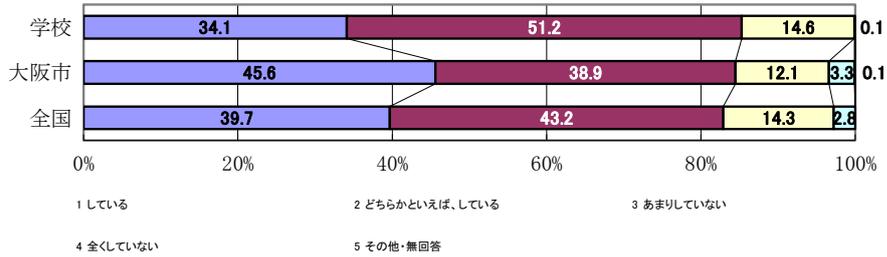
1

朝食を毎日食べていますか



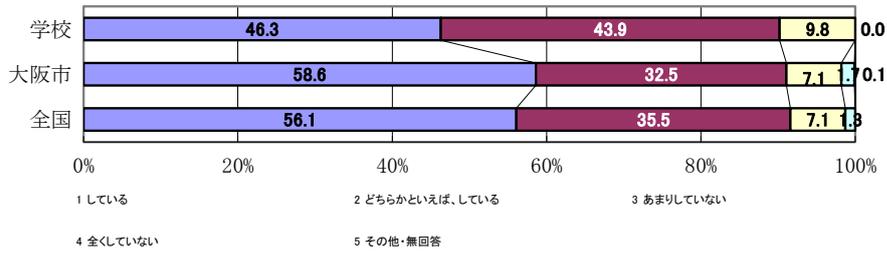
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



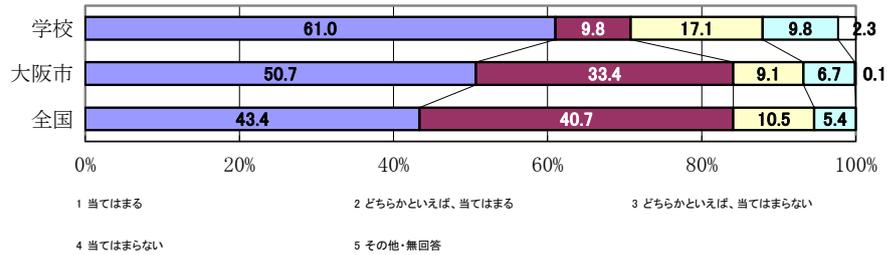
3

毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



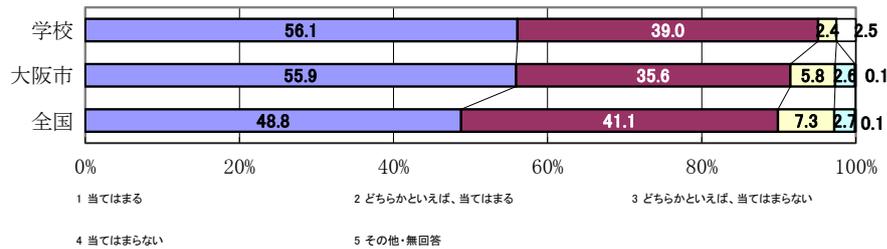
9

自分には、よいところがあると思いますか



10

先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか

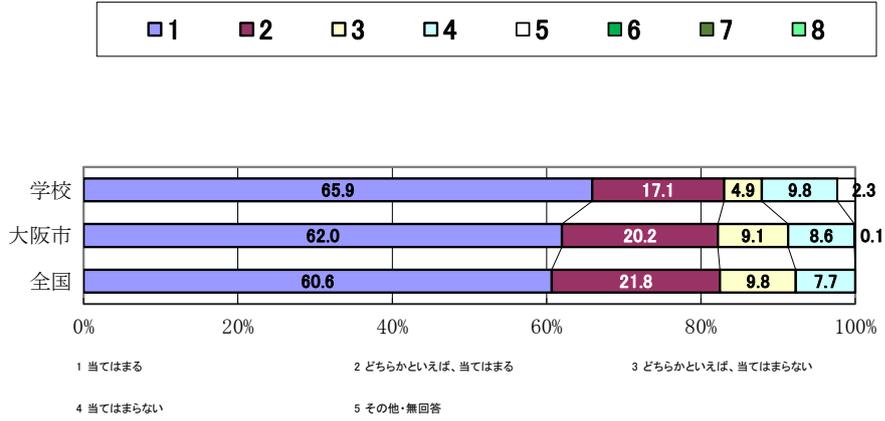


# 児童質問より

質問番号  
質問事項

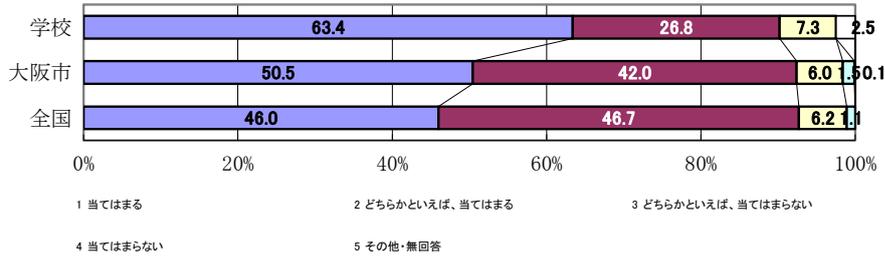
11

将来の夢や目標を持っていますか



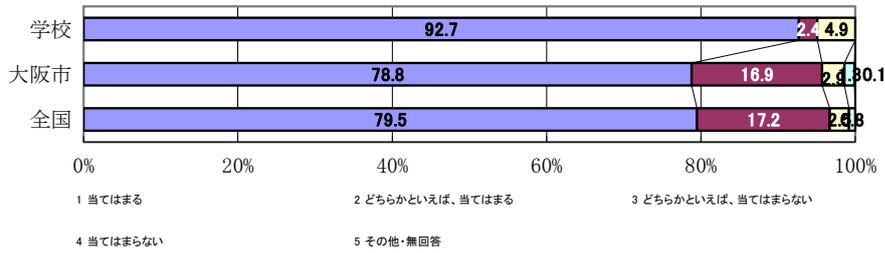
12

人が困っているときは、進んで助けていますか



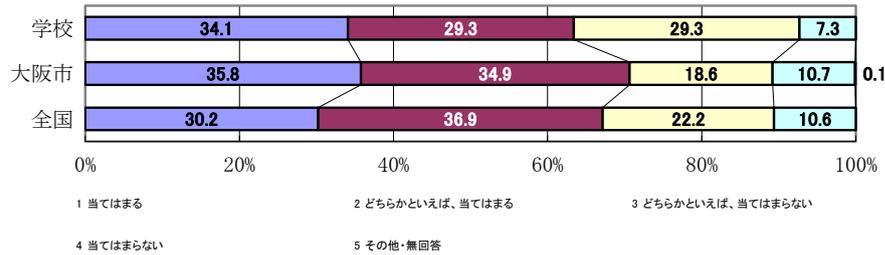
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



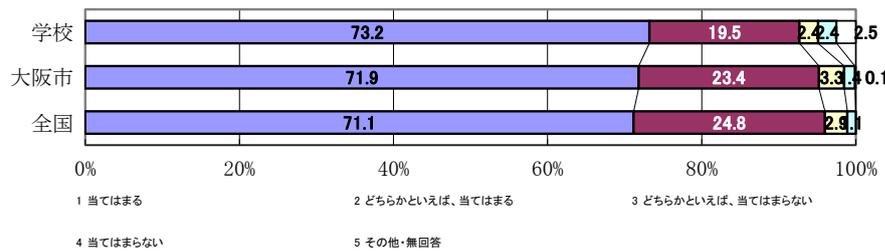
14

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



15

人の役に立つ人間になりたいと思いますか

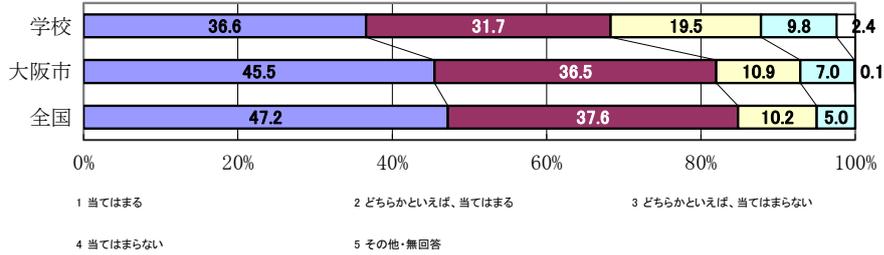


# 児童質問より

質問番号  
質問事項

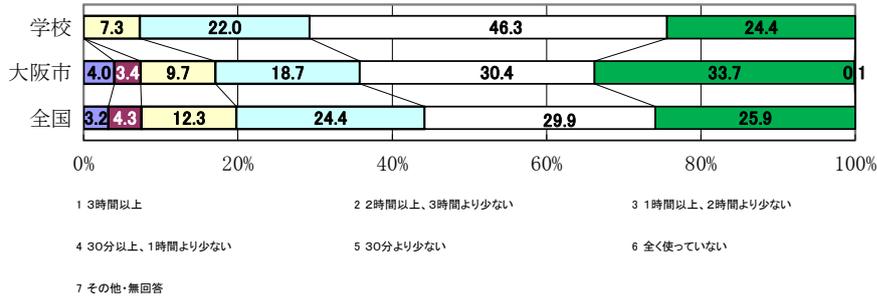
16

学校に行くのは楽しいと思えますか



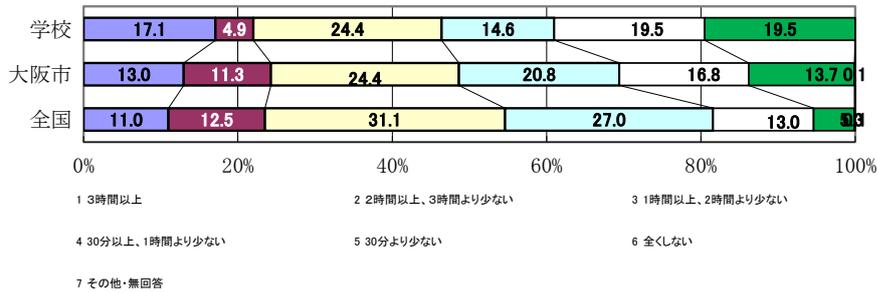
4

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか(遊びなどの目的に使う時間は除く)



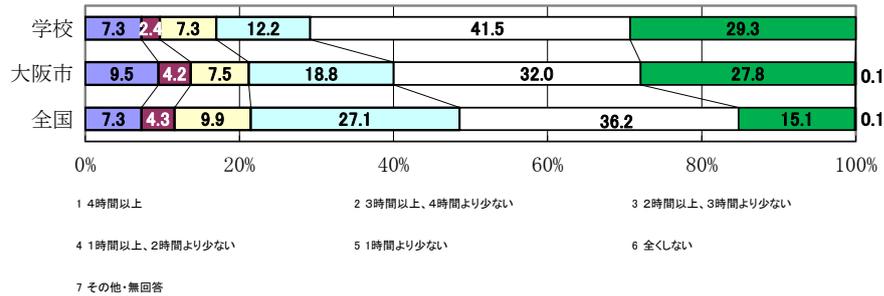
21

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



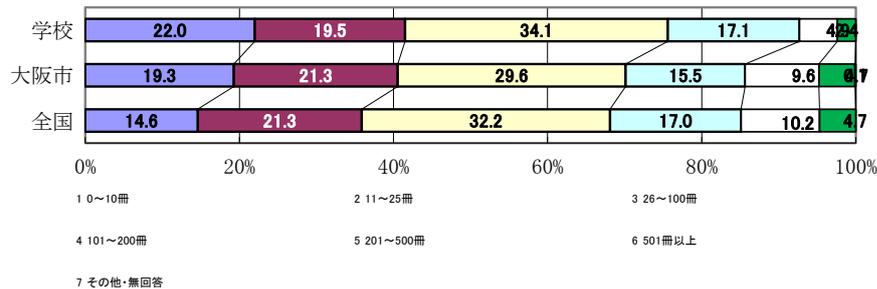
22

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



23

あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、新聞、教科書は除く)

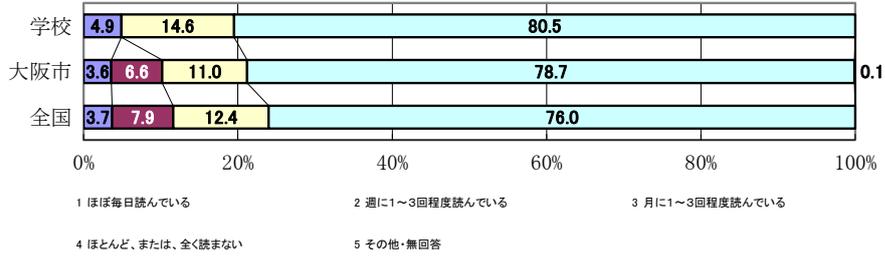


# 児童質問より

質問番号  
質問事項

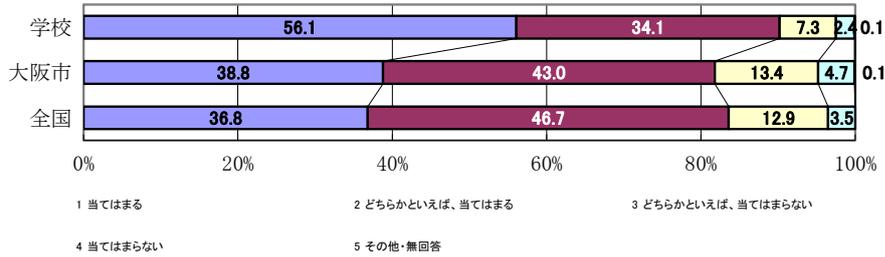
24

新聞を読んでいますか



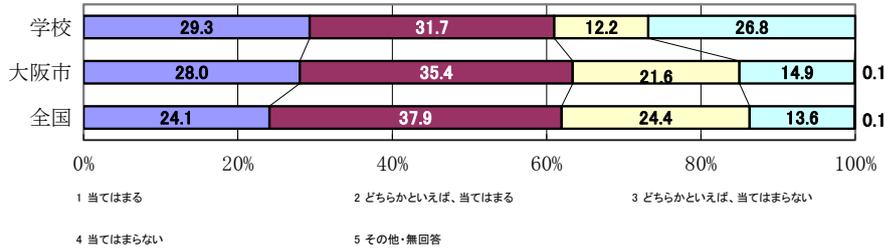
25

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



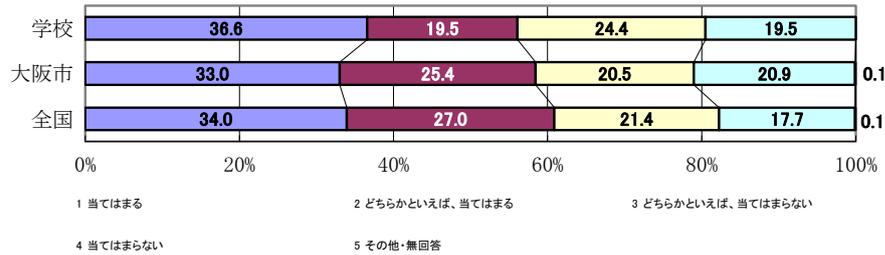
42

国語の勉強は好きですか



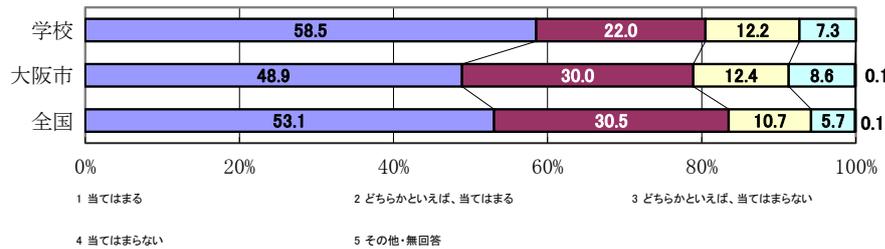
50

算数の勉強は好きですか



58

理科の勉強は好きですか



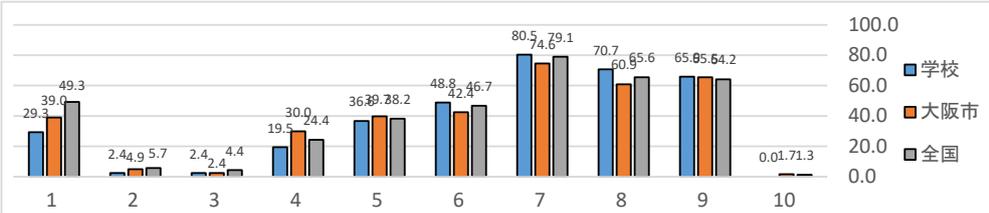
# 児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何を  
 過ごすことが多い  
 ですか  
 (複数選択)



1 家で勉強や読書をしている

2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している

3 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1~9に当てはまるものがない

## 学校質問より

質問番号

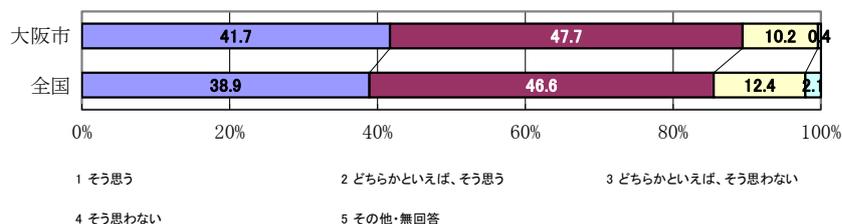
質問事項

7

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



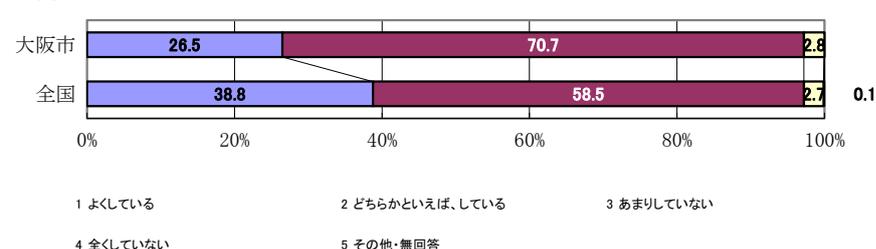
学校 「そう思う」を選択



12

指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか

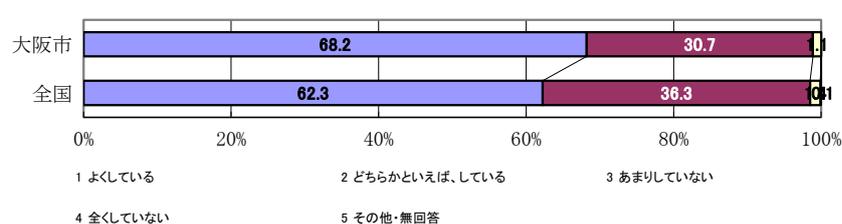
学校 「どちらかといえば、している」を選択



16

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

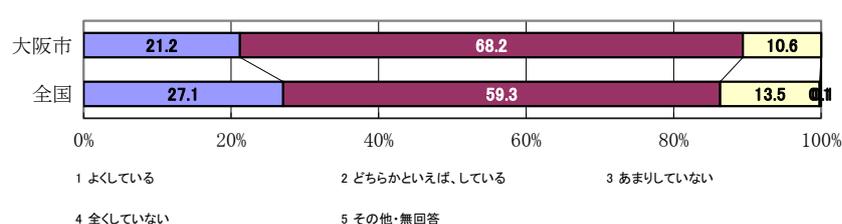
学校 「よくしている」を選択



18

個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか(オンラインでの参加を含む)

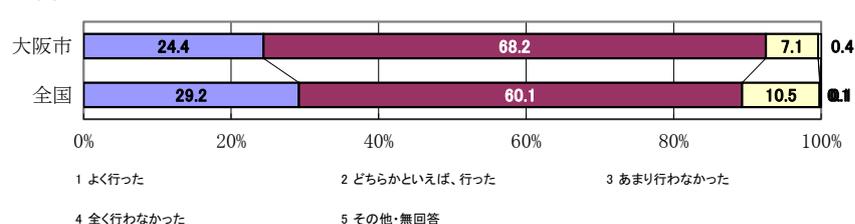
学校 「どちらかといえば、している」を選択



33

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



## 学校質問より



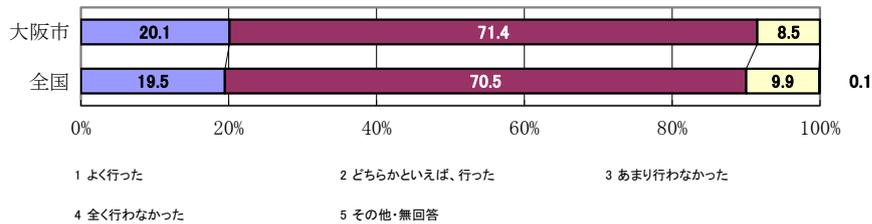
質問番号

質問事項

41

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるような指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

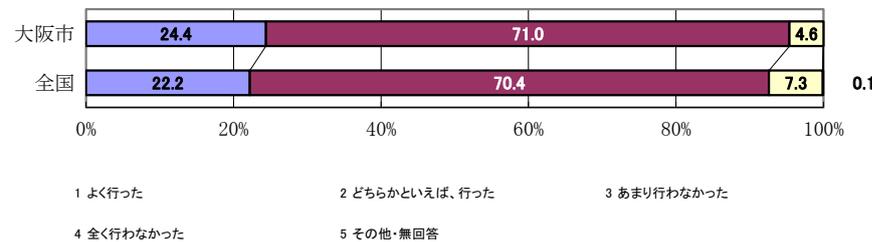


0.1

42

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図、場面の状況に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、話す内容を検討することができるような指導を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

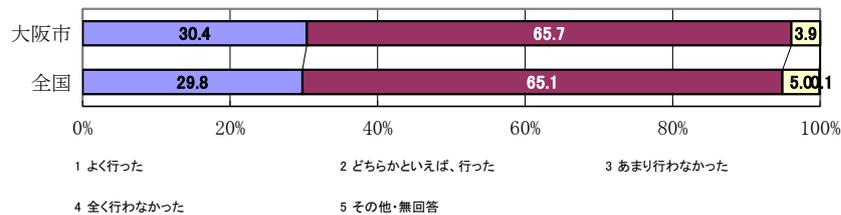


0.1

43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

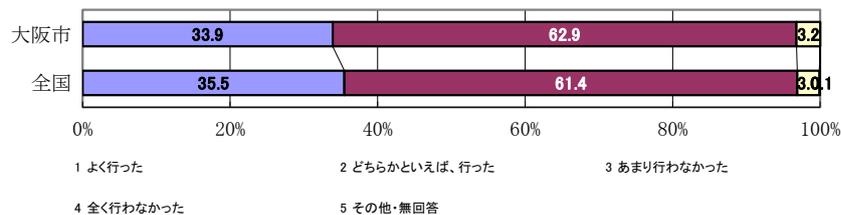


0.1

44

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、登場人物の人物像や物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考えて読むことができるような指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

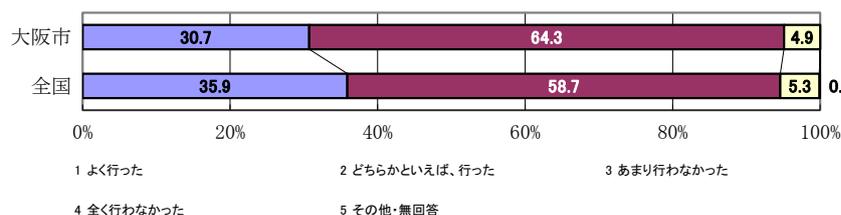


0.1

46

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、具体的な物を操作するなどの体験を伴う学習を通して、数量や図形について実感を伴った理解をする活動を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



0.1